柏陵

「二十一世紀」心新たに

同窓会長　戸谷全克（高一回卒）

二十一世紀幕開きの新春を、会員の皆様には賑々しくお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

母校も二世紀に亘る学校に、それも来年は八十周年を迎える事になるわけで、この会報が皆様のお手元に届く頃には八十周年実行委員会も発足の運びになるものと思います。

丁度節目の年になりましたので、会報につきましても今回より、見やすく、国際規格にあったものをと考え、A4版、一行十二文字としたわけでございます。

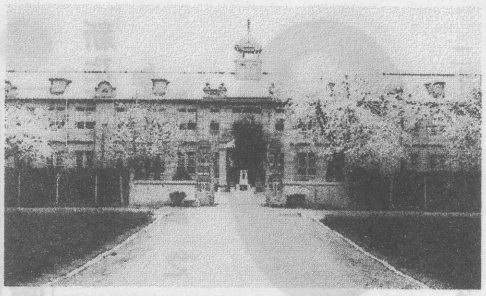
更に、世紀の巻頭を飾る事業として、すでに皆様方のお手元にご案内申し上げました平成十三年版会員名簿の発刊を八月三十一日に行います。奮ってお申し込みの程お願い致します。但し、ここでご注意申し上げたいのは、毎回発刊後、半年以内に、関係のない業者より、紛らわしい名称で高額な勧誘の葉書が送られて参ります。くれぐれもご注意頂きたいと思います。

※今回頒価四、三〇〇円（送料・消費税込）

八十周年事業の内、既に決定しておりますのは、記念誌の発刊であります。

二年前から呼び掛けましたので、色々とご協力頂いておりますが、部活や同期会の動向について、何か資料がありましたら学校宛にご一報頂ければ大変有り難い事でございます。

最後になりましたが、記念事業の決定をみまして、ご寄付のお願いと云うことになろうかと思いますが、その節は何分とも宜しくお願い申し上げます。



旧埼玉県立本庄中学校　本館前景
（大正11年設立）

発行
県立本庄高校同窓会
会長　戸谷全克
事務所　本庄市中央1-7-21
戸谷八内
TEL0495(22)2008

平成12年度　埼玉県立本庄高等学校同窓会総会
平成12年6月25日　於 埼玉グランドホテル本庄

支部長会議・新年会日程

一、時　二月十八日（日）
二、場所　五州園
三、次第
①支部長会議　午後三時
②記念音楽会　午後四時半
ソプラノ独唱
浅見多佳子
③新年会　午後五時
会費　五千円

総会日程

一、時　六月九日（土）
二、場所
埼玉グランドホテル本庄
三、次第
①総会　午後三時
②記念音楽会　午後四時半
③懇親会　午後五時
会費　五千円

本部役員

会長　戸谷全克　高1
副会長　立川大作　中9
副会長　高木敏子　女8
副会長　清水實　中19
副会長　吉田建治　高2
副会長　塚越寿衛　高2
副会長　竹並栄一郎併中2
副会長　戸谷洋一郎　高14
副会長(教頭)保泉尚良
副会長(教頭)山辺樹久生
会計　内野ヨシエ　女16
会計　清水正一　高6
監事　江原清吉　高4
監事　竹内恵美子　高6
顧問　岡祐孝　中9
顧問(校長)　黄谷浩之　高13

支部役員

宮本町　卜部義典　高1
泉町　竹並栄一郎併中2
上町　境野登　高2
照若町　岩本英人　中20
七軒町　町田一徳　高5
仲町　飯塚能成　高25
本町　矢代和正　高6
南本町　村田敬次郎　中22
台町　松本敬一　定1
末広町　野枝直治　高5
諏訪町　井上昌幸　中22
朝日町　内藤明　高3
藤田　宮崎興憲　高4
仁手　福島好正　高3
旭　亀田本二　高4
北泉　塩原暁　高5
今井　清水奨　高4
児玉　吉田建治　高2
美里　野口重信　高23
神川　金井久直　中22
神泉　秋山欣彦　高28
上里神保原　森村信行　高14
上里賀美　小野英彦　高14
上里七本木　斎藤勝次　高14
上里長幡　小柳喜政　高10
岡部　茂木肇　中14
寄居　松本恭二　高2
深谷　清水實　中19
熊谷　栗原健舜　高13
県庁県南　小池久　高10
伊勢崎　吉澤唯志　高11
新町　高嶋重皓　高6
東京　冨田三郎　中4
本庄市役所　戸谷洋一郎　高14
エーザイ　茂木秀夫　高13
沖電気　村岡徳英　高15
児玉郡市教職員
宮部彰　高14

柏陵消息

新たな世紀の中で

学校長　菅谷浩之

二十一世紀という新たな世紀の門出を祝うなかでの新年となりましたが、同窓生の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

本校に二十二年振りに着任し、間もなく一年が過ぎようとしております。

ところで、本校は平成十四年度に、創立八十年の節目の年を迎えます。去る十一月に実行委員会設立の準備を始めました。県北の伝統校として、今日まで諸先輩が築いてきた本校を八十年を一つの節目とし、さらなる発展のために尽力する覚悟でおります。

八十周年行事につきましては、ご協力をよろしくお願いいたします。

昨秋、学校にお二人の方がお見えになりました。旧制中学の卒業生とのこと。校長室で往時の校長先生方の写真を見ながら、在学中の話にはずみ感慨深い様子でした。

昭和四十年代前半以前の卒業生には、当時を思い起こす施設等が少なくなりましたが、母校ほど思い出深いものはないと思っております。

昨年、同郷の著名な作家との会話の中で、代表作の中に私の生まれた土地の地名が出ていたことを話したところ、「出身地を永く離れると、母を憶い、故郷を憶い、母校を憶うものです」とのことでした。

この言葉にあるように、我々は同窓生から慕われる学校づくりを目指す必要を痛感しております。

最後になりましたが、皆様の一層のご健勝を祈念申し上げあいさつといたします。

母校近況

PTA会長　植田豊久

二〇〇一年の幕開けということもあり、"明けまして"の言葉にも、いちだんと力がこもって聞こえる新年です。PTA活動は、年間事業の大半を順調に消化し、残る任期を全うすべく学校・後援会と共に、力を注いでいきたいと思っています。

歴史と伝統の本庄高校も平成十四年に、学校創立八十周年を迎えようとしています。その記念事業を行う為に、先日、同窓会、学校、後援会、PTAの代表で準備の為の会議が行われました。PTAの場合には、年度毎に役員の顔ぶれが変わりますが、役割引き継ぎを図り、式典を成功させる為、同窓会に遅れをとらぬよう、協力をしていきたいと思っています。

後援会長　谷川政彦

明けましておめでとうございます。新世紀を迎え、同窓生の皆さんはますますご健勝にて御活躍のことと思います。

私は本校後援会長を拝命して二年になります。同窓会長様をはじめPTA会長様とともに、県北の雄本庄高校の更なる発展のために今年も協力・援助を約束いたします。

平成十四年が本校創立八十年目にあたります。昨年十二月に準備のための四者会談が持たれました。後援会としても全力を挙げて協力をしたいと思います。

本校の卒業生が、各層各界において素晴らしい活躍をされているのを耳にするにつけ、心強い限りです。その先輩たちに続く在校生の日々研鑽を期待して私のことばといたします。

全日制生徒会長　中山晴貴

新入生を迎え早一ヶ月が経ち風薫る五月になりました。

私たち生徒会では今、清涼飲料の自動販売機設置に向けて日々取り組んでいます。その実現のために、まず自分の身の周りから環境を見直し、整えていこうということで「ゴミ分別処理運動」を企画し、現在本高全体で取り組んでいます。

自販機導入に向けてゴミ分別回収の実績を上げる為に二週にわたってキャンペーンを行いました。

この二週間でアッという間に校内のゴミの状況は一変し、生徒の手でゴミの分別回収はしっかりとできるようになり、ゴミがあふれていたHRさえも最終的には、ゴミ一つない状態にまでなりました。

私はこのキャンペーンを実施したことで本高生一人一人がゴミの分別に対する認識を高め、各自がそれを行動に移すいい機会になったと思いました。

私たち生徒会は全校生徒の熱心な取り組みと大きな一歩を無駄にせず、これからもいち早く自販機が設置できるように全力で取り組んでいきたいと思います。

（十二年五月寄稿）

定時制生徒会長　相川健

今年も春が巡って来た。教室の窓より見ると花水木の花の色が見事に初夏を演出し裏庭では若葉の下で弓の練習に生徒がいる風景です。家の事情で実社会に早く出てしまい思うに若い頃の私には働きながら学ぶ勇気がなかったと反省し六十才で発心し定時制に入学したが多齢のギャップは生活の総てについて廻り学ぶ適齢を痛感している毎日です。定時制は働きながら学ぶこの両立が人生修業です。入学後間もない一年生諸君は学校生活に慣れて来る頃です。長い夏休み後に脱落者にならぬ様にと経験者として願うことは目標を決めて一歩ずつ進んで下さい。今を大切にまず学校に来る事を続けて下さい。それだけで近い将来必ず自信となって自分を大きくする事が出来るのですから。

（十二年五月寄稿）

過去5年間の進路推移

（　）は現役

	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
国公立4年制大学	13 (2)	10 (5)	8 (3)	6 (3)	13 (7)
私立4年制大学	183 (88)	169 (76)	207 (98)	173 (98)	172 (114)
国公立短期大学	5 (5)	2 (2)	3 (1)	3 (3)	4 (4)
私立短期大学	89 (86)	75 (75)	48 (40)	53 (50)	38 (37)
専修・専門学校	80 (73)	83 (69)	106 (90)	98 (83)	88 (81)
公務員・民間就職	8 (5)	11 (10)	10 (7)	19 (12)	3 (2)

平成12年今春の合格状況

国公立大	人数	現役
1 岡山	1	1
2 群馬	3	2
3 筑波	1	1
4 東京芸術	1	0
5 鳥取	1	0
6 山形	1	0
7 琉球	1	1
8 高崎経済	2	2
9 前橋工科	1	0
10 東京都立（2部）	1	0
合計	13	7

私立大	人数	現役
1 日本	31	10
2 大東文化	30	18
3 東洋	25	9
4 立正	24	12
5 城西	11	9
6 帝京	10	7
7 亜細亜	9	6
8 拓殖	8	5
9 明治学院	8	1
10 女子栄養	7	7
11 専修	7	2
12 獨協	7	6
13 武蔵	6	4
14 工学院	6	2
15 駒澤	5	1
16 東海	5	4
17 明治	5	3
18 東京経済	5	0
19 東京国際	5	3
20 立教	4	1
21 国際医療福祉	4	2
22 東京電気	4	3
23 法政	4	1
24 関東学園	3	3
25 文化女子	3	3
26 神奈川	3	2
27 国士舘	3	3
28 聖学院	3	3
29 麻布	2	0
30 埼玉工業	2	2
31 淑徳	2	2
32 杉野女子	2	2
33 中央学院	2	2
34 東邦	2	0
35 日本工業	2	2
36 武蔵野女子	2	2
37 関東学院	2	2
38 九州東海	2	0
39 駿河台	2	2
40 中央	2	1
41 東京工科	2	1
42 奈良	2	0
43 文京女子	2	1
44 学習院	2	0
45 北里	2	0
46 國學院	2	0
47 大正	2	0
48 早稲田	1	0
私立大合計	316	171
総計	329	178

今春の進路状況

進路指導部
飯塚尚人

今春の進路状況では、国公立大七名、私立大一一四名と現役の合格者が近年ではもっとも多くなった。この背景には受験人口の減少により入試が緩和されていることがあり、特に私立大で二極化が進み、中堅以下の大学を中心に倍率が下がり入りやすくなっている現状があることが考えられる。一方、私立大の難関大や国公立大ではそれほど倍率が下がらず、難易度も下がらず受験生には厳しい状況が続いている。このような傾向は今後も続くと考えられる。短大への進学者は減少が続き、四年前に比べると半減している。この結果は、高学歴志向から四年制大学を目指したり、就職難を背景に実学志向から専門学校を希望する女子が増加していることのあると考えられる。

就職・公務員については、就職難から求人件数は毎年減少し、就職を希望している生徒はあまり選択の余地がなく、厳しい状況を強いられている。そのような中、就職希望を断念したり、また自分のやりたいことが見つけられず就職も進学もせずフリーターのような形で卒業する生徒も見られるようになってきた。公務員も就職難や採用人数の減少で厳しい状況で今年は合格者なしという結果に終わった。

平成十一年度事業報告

11年4月　母校入学式に出席
5月　会計監査
6月①会報29号発行
②通常総会開催
7月　上里支部設立総会に出席
9月　母校柏樹祭に出席
12年1月　会報30号発行
2月①支部長会議・新年会開催
②育英資金・母校助成金の贈呈
3月①新会員入会式開催
②新幹事へ委嘱状授与
③母校卒業式に出席
※毎月定例役員会の開催

平成十二年度事業計画案

12年4月　母校入学式に出席
5月　会計監査
6月　通常総会開催
7月　部活動の応援
8月　記念誌委員会の開催
9月　母校柏樹祭出席
11月　講演会開催
12月　新会員名簿の検討
13年1月①会報31号発行
②育英資金・母校助成金の贈呈
2月　支部長会議・新年会開催
3月①新会員入会式開催
②新幹事へ委嘱状授与
③母校卒業式に出席
※毎月定例役員会の開催

会費納入についてお願い

親愛なる会員の皆様、私達は母校への寄与貢献と会員相互の親睦向上を念願に努力しておりますが、基礎財源は年会費(壱万円)又は終身会費(壱万円)であります。

未納の方の御協力をお願い申し上げる次第です。会費ご納入の際には必ずご送付申し上げた振込用紙をご使用下さい。なお念のため加入者名・口座番号をお知らせ致します。

加入者名　埼玉県立本庄高等学校同窓会
口座番号　〇〇一三〇—六—一八七〇二〇

本高同窓会役員一同

終身会費納入者芳名(卒年別 敬称略)
H11・12・1～H12・3・31

【高4】内山正太郎
【高6】茂木孝夫
【高30】金井善雄
【高34】福井恵子
【高41】黒澤紀子、野澤　淳
川田博樹、吉岡大太郎
【高42】今　重之
【高43】阿佐美雅史
【高44】中島昭美、永石　博
冨澤弘司、杉野幸一
竹山千晶
【高45】飯島明子、栗原直子
中島亜希子、川田俊哉
久保田吉輝、小貝千絵
山田みどり
【高46】神崎広好、岩瀬敬征
萩原勇己、青山容子
【高47】青木　功、山内弘子
野本宏之
【高48】田部井訓子、小林誠司
武藤和美、弓町孝志
【高49】清水美穂、大澤真吾
田中嶋隼人、宮川明子
掛斐志保、大澤幸恵
前川悠介
【高50】児島直史、川俣耕輔
荒井健司、井沢友子
棚沢光洋、金子ひとみ
内野泰志
【高51】井口和枝、中村弘太郎
川戸勇輝、石坂光太郎
山内美穂、江原祐子
嶋田奈緒
【高52】新田将之、山田美智子
染谷昌寛、高嶋優子
小林篤史、水野実紗
内海博之、杉田奈央
高田和子、冨田　学
根岸優輝、松村明代
高木健次、持田清文
小見良介、門倉　仁
関口尚志、野呂隆太
高橋あづさ、進藤祐美
竹山栄美、高橋伸一
小川朋美、横川直美
岩上修、栗原登美子
中沢勇太、中島大輔
小泉恵理子、金井俊之
卜部めぐみ
須田佳世子、谷　栄剛
山田真澄、成富佐和子
四分一智子、神岡美香

年会費納入者芳名(卒年別 敬称略)
H11・12・1～H12・3・31

【高33】内田　薫
【高40】富沢友子
【高44】鈴木みゆき、野澤良次
岩田理枝、関根裕子
小暮慎一郎
【高45】小池威正、野澤亜希子
【高46】小林　寛、岩田美礼
【高47】会田純也、福地大介
清水美砂、藤川佑司
【高48】中井　慈、上條瑞江
飯塚　学、須藤丈智
細山拓也、関根加代子
竹野恭子
【高49】鈴木しのぶ、斎藤丈士
岡田高和、金子武史
難波尚子、岡安正頼
榛葉圭子、滝澤浩司
【高50】坂上　茂、野澤諭志
竹野彰吾
【高51】小島　昇、掛川朱津乃
庄　美志
【高52】桜澤　歩、須藤千博
須貝志津佳
高田香緒利
田野由美江
【定50】酒井美恵子

終身会費納入者芳名(卒年別 敬称略)
H12・4・1～H12・12・31

【高6】金井亨夫
【高8】田中静子
【高13】萸谷浩之
【高30】榊田裕司
【高40】深尾美奈子
【高41】清水　修
【高42】井上明久
【高45】町田　誠、新坂　晋
【高46】内田富幸
【高47】小暮　学
【高49】高木優一
【高51】榊　敦子、木村雅史
【高52】相原啓乃、水澤恭輔
【中19】伊藤　界、青柳今朝雄
峯岸早紀、武正奈保美
金本　梓、山口マリ子
澁澤幸江、小林恵理子
金井千賀子、
江原いづみ

年会費納入者芳名(卒年別 敬称略)
H12・4・1～H12・12・31

【高41】長牛澄枝
【高47】飯島奈々美
【高48】大久保加菜子
【高49】出牛健太郎、田村　裕
【高50】日向奈緒、井田文雄
【高51】田島　勇、中野宗春
【高52】佐藤美幸、田村直子
日向祐子、清水　香
杉田恵梨佳

寄付者芳名(卒年別 敬称略)
H12・4・1～H12・12・31

【女12】小松郁子

平成11年度収支決算書

自　平成11年4月1日
至　平成12年3月31日

(単位　円)

収入の部

科目	決算額	予算額	比較増減	備考
入会金	754,000	754,000	0	全日制361名、定時制16名
終身会費	1,620,000	500,000	1,120,000	本年度納入者162名
年会費	99,000	100,000	△ 1,000	納入者97名、但し2名は2年分納入
寄付金	80,000	10,000	70,000	寄付者2名
雑収入	176,879	100,000	76,897	定額預金利息120,000円を含む
預かり金	2,000	0	2,000	会員の送金錯誤
前年度繰越金	4,522,127	4,522,127	0	
合計	7,254,006	5,986,127	1,267,879	

支出の部

科目	決算額	予算額	比較増減	備考
総会費	278,503	350,000	△71,497	総会、記念講演会、懇親会諸経費
組織編成費	886,282	1,000,000	△113,718	会報第29号制作費 286,981円 会報第30号制作費 416,635円 支部会費、新幕会費 215,004円 上級表彰賞金 60,017円 新入会員用郵送用張 27,610円
記念品費	242,970	245,050	△2,080	卒業記念、新旧役員記念品
母校助成金	50,000	50,000	0	通信強化2カ、記念碑補修2カ、所蔵品増納1カ
会議費	19,500	50,000	△30,500	役員会出席者謝礼1カ月2名、通知用郵書1万5百
通信費	1,091,060	2,000,000	△908,940	会報29号郵便料 522,830円 会報30号郵便料 546,140円 支部長会用切手代 3,700円 終身会費振込手数料 18,090円
交際費	73,050	150,000	△76,950	結婚祝賀金 1万円、電報 1,050円 えびす代等 32,000円、花輪・会員葬儀2万円
中高連絡会費	0	200,000	△200,000	
事務雑費	620,653	1,000,000	△379,347	会報29号封入封緘経費 290,118円 会報30号封入封緘経費 307,000円 振替通信費 735円 領収書3万1千円、送金手数料1,807円 在校生1名へ支給
育英資金支給	50,000	50,000	0	
80周年記念費	0	500,000	△500,000	
予備費	0	391,077	△391,077	
合計	3,312,018	5,986,127	△2,674,109	

依って次期繰越金は収入合計7,254,006円—支出合計3,312,018円=3,941,988円である。

財産目録

平成12年3月31日

(単位　円)

科目	金額	備考
定期預金	1,002,965	積立金(80周年記念誌用)
定期預金	11,028,640	積立金
定額預金	5,190,000	積立金
定額預金	2,776,000	※
普通預金(あさひ銀行)	930,773	※
普通預金(さくら銀行)	92,187	※ ※の合計が繰越金である。
当座預金	25,962	※ (3,941,988円)
現金	1,958	※
郵便局振替口座	115,108	※
合計	21,163,593	

会計監査報告

平成11年度の監査を行いましたところ諸帳簿一切過誤なく、正当であることを認めます。

平成12年6月12日

監事　江原清吉
監事　竹内恵美子